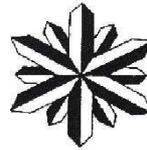


教育目標 ふるさと大館を愛し、共に磨き高め合い、  
今と未来を幸せに生きる生徒の育成

# と 南 万 里



- 活力のある一中生
- 団結力のある一中生
- 優しく力強い一中生

## 第3回IB集会開催!

16日(月)に第3回IB(アイディアバトル)集会を行いました。第1回と第2回は学年ごとに1学期に行い、今回は全校での開催でした。今回の話し合いテーマは、

### ふるさと大館への地域貢献活動 幸せに生きるために～今までとこれから～

でした。大多数の生徒が高校卒業までを大館で過ごします。現在の自分たちはもちろんのこと、未来の中学生まで思いを馳せて「ふるさと大館への地域貢献活動」について考えようとしている一中生に、大館愛を感じます。

会は、生徒会長菅原実千花さんの市子どもサミットで決まった取組の説明から始まり、その後全校生徒での話し合いに入りました。生徒総会のようにマイクを中央に一つ固定したことで、そこに多くの生徒が集まり、限られた時間の中でたくさんの意見が出されました。学校運営協議会委員の方々も話されていましたが、大勢の前でも堂々と意見を述べる姿が大変立派でした。ただ、これもまた委員が話されていたことですが、「理由や具体例を交える」ことで質の高い、深い発言や話し合いになるのではないかと感じました。

これからも磨き高め合いながら、よりよい一中を生徒、教職員で共に創っていきたいと思います。

#### IB(アイディアバトル)集会のねらい

- ① 全体の場で自分の意見を**発表**すること
- ② **共感**をもって相手の意見に**反応**すること

↓  
集団討議の力を鍛えるための練習の場  
集団で討議する楽しさ、おもしろさを感じる場  
これからの授業・生活に生かそう!

#### 話し合いのルール



#### 発言編

- ① 発言するときは、**挙手**。  
腕は耳につけ、**ピーン!!!**
- ② 指名されたら、その場に起立。  
「学年・組・名前」を話してから発言。
- ③ **温かい発言**。  
理由や具体例を交える。

#### 話し合いのルール



#### 反応編

- ① 体と心を話し手に向けよう。**傾聴**
- ② 発言のあと、話してくれた人に届く**元気な反応**、  
場にあった適切な反応をしよう。

### 規律と共感



11 立派な草取り  
あそびの時間  
神明社草取りボランティア  
鹿鳴ホールでの合唱祭など



#### 【成果】

- ・草取りによって見通しがよくなり安全性が高まった。
- ・合唱を通して、地域に感動を届けることができた。
- 普段できない活動を通して、生徒たちに地域への愛着が生まれた。

#### 【課題点】

- ・活動への事前準備ができていない生徒が多数いた(服装など)
- 生徒全員がより前のめりに取り組む姿勢が欲しい

### 草取りボランティア、あいさつ運動、合唱祭などの地域貢献活動をよりよくするためには？

- ・みんなで心を合わせる
- ・活動の意味を考えて取り組む
- ・人数を増やして取り組む
- 時間を増やす（二日間）
- ・個人個人の意識を変える
- ・小中合同挨拶運動の人数を増やす
- ・神明社祭典のごみ拾いボランティア

### 地域貢献活動とは

何のため？誰のため？一中学生にとってメリットは？

- ・地域の方を笑顔にできる
- ・お互いによい影響を与える
- ・地域の方とともに暮らせる町づくり
- ・協力し、お互いに良い印象がもてる
- ・互いに気持ちよく、支え合える
- ・つながりが増え、どちらにもよさ

### 地域貢献活動とは

何のため？誰のため？一中学生にとってメリットは？

- ・地域の人との信頼関係を築く
- ・町の人を元気づけ、相手との仲を深める
- ・いつでも助け合える
- ・地域の方への恩返し
- ・地域の方との交流が増える
- ・地域の方に元気を与え、活性化する
- ・お互いに

### 地域貢献活動とは

何のため？誰のため？一中学生にとってメリットは？

- ・配慮ができるように
- ・心と体を鍛えられる
- ・大館中に元気を与えられる
- ・環境が守られる
- ・一中学生のまわりからの評判
- ・地元について深く知ることができる

## 一中学生はこれからどのように生活していくべき？

- ・ごみ拾いや草とりボランティアをクラス対抗に
- ・自分が住んでいるという自覚、改善点など
- ・部活と学習の両立
- ・地域をよりよくしていく気持
- ・愛と尊敬の念を抱いて生活する
- ・全員が意識を持つ
- ・一中祭、合唱祭のチラシなど
- ・普段から町のごみを拾う
- ・地域の方への挨拶やコミュニケーション→良い印象を与える行動
- ・日常からできる元気づけ→ボランティアの参加を積極的に
- ・自分から率先した行動
- ・他地域に伝わるような行動

With  
One  
Heart



大館のために  
「あなたには何ができる？」

「考え続けて、実行していこう！」

# 学校保健委員会開催！

13日（金）に学校保健委員会が本校会議室で行われました。学校医の丹代諭先生、学校歯科医の伊東慶介先生、学校薬剤師の山方俊介先生、スクールカウンセラーの石塚章先生をお招きし、PTA会長藤原様、PTA副会長江幡様、体育厚生部長川口様をはじめ部員の保護者様、本校職員と総勢21名が参加しました。

最初に本校の養護教諭小林先生が市内全小・中学生を対象に令和元年から隔年で実施している「生活習慣とメディアに関する実態調査」の結果について報告しました。次に、石塚章先生からストレスやレジリエンス等について講話をいただき、最後は質疑応答を行いました。子どものメディア使用については、多くの保護者が悩みやもどかしさを抱えているのではないかと想像します。丹代先生が話されていたように、「その環境をなくす」ことが最も効果ある方法だと思います。分かってはいるのだけど…の悩みなのですけどね。

～養護教諭小林先生の報告、石塚章先生の講話から一部抜粋～

